

令和3年 第16回兵庫県がん診療連携協議会

「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」の運営状況

妊孕性温存の特徴

胚凍結(受精卵)

卵子凍結(未受精卵)

卵巣凍結

世界初

- 1983年
オーストラリア

- 1986年
オーストラリア

- 2004年
ベルギー

日本初

- 1989年

- 2001年

- 2013年

利点

- 妊娠率が比較的高い
- 精子は不要

- 精子は不要
- 思春期以前にも適応
- 排卵誘発が不要

欠点

- 排卵誘発が必要
- 精子が必要
- 離婚後は無効

- 排卵誘発が必要

- 侵襲性が大きい
- 腫瘍細胞の混入リスク
(微小残存病変; MRD)

費用

- 約40～50万円
(胚凍結まで)

- 約25～35万円
(卵子凍結まで)

- 約70万円(摘出・凍結)
- 約70万円(融解・移植)

●145,000例以上(日本)

●6000例以上(世界)

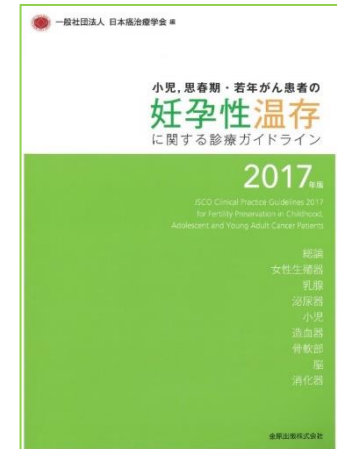
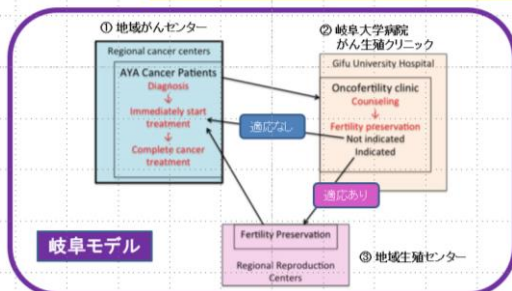
●180例以上(世界)

本邦におけるがん生殖医療

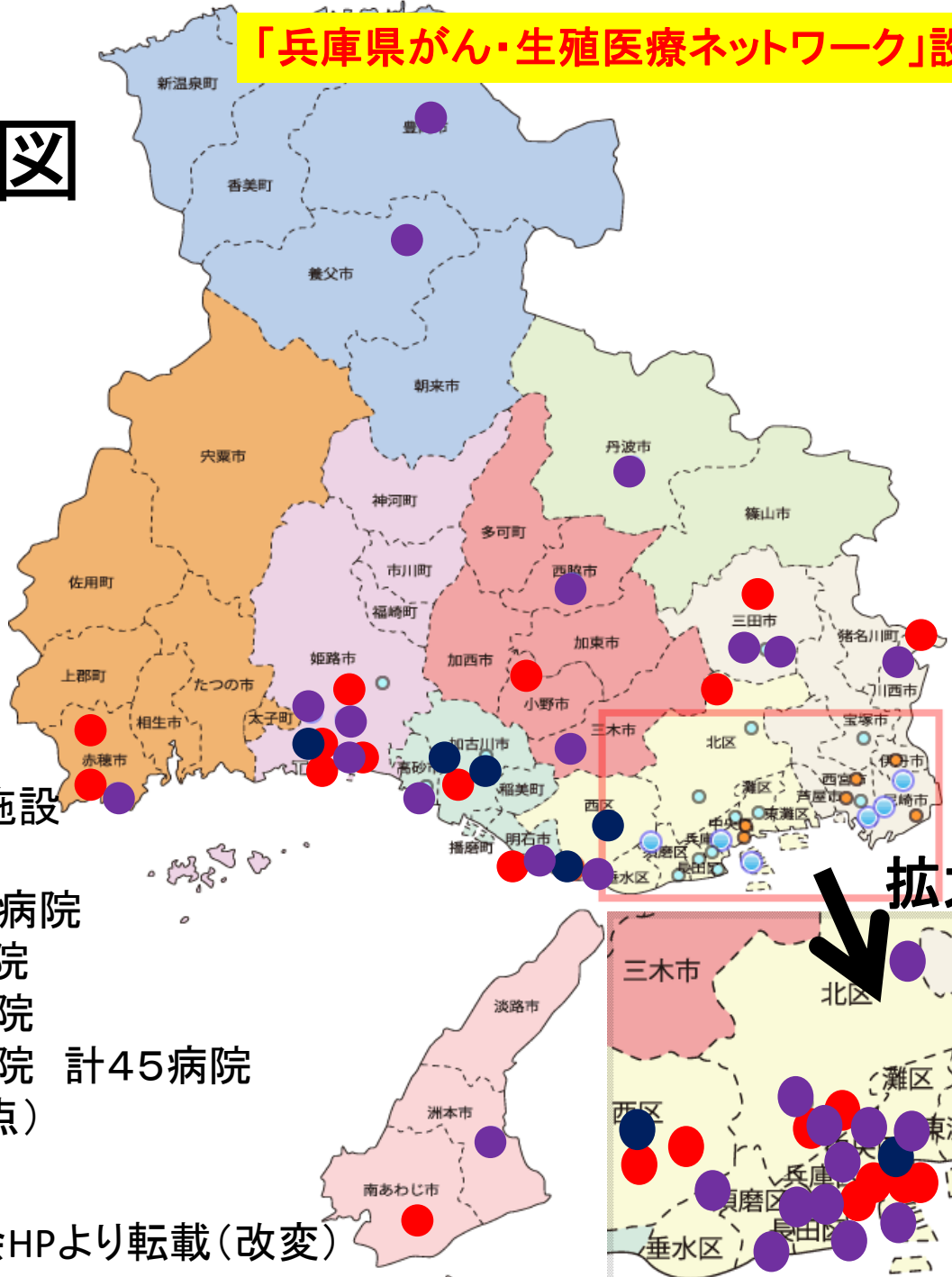
- 2012年11月:「日本がん生殖医療研究会(現在は学会)」が設立
- 2013年2月:本邦初のがん生殖医療の地域連携:岐阜県がん・生殖医療ネットワーク設立
- 2013年11月:日本生殖医学会は「未受精卵子および卵巣組織の凍結・保存に関するガイドライン」を発表
- 2014年4月:日本産科婦人科学会は「医学的適応による未受精卵子および卵巣組織の採取・凍結・保存に関する見解」を発表
- 2014年9月:日本がん・生殖医療研究会から「乳癌患者の妊娠出産と生殖医療に関する診療の手引き」が第1版として発刊された。
- 2016年1月:兵庫県がん・生殖医療ネットワーク設立
- 2016年6月:「医学的適応による未受精卵子、胚(受精卵)および卵巣組織の凍結・保存に関する見解」として改訂
- 2017年7月:日本がん治療学会から小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドラインがに第1版として発刊された。
- 2020年4月:兵庫県若年がん患者妊孕性温存治療費助成事業(一部の市町で開始)
- 2021年4月:小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法研究促進事業開始(厚生労働省健康局がん・疾病対策課)→全ての地域で治療費助成開始

【がん生殖医療ネットワーク・Gifu Model】

Original Article
 An evaluation of the Gifu Model in a trial for a new regional oncofertility network in Japan, focusing on its necessity and effects
 Authors: Furuo T, Maki T, Takahashi H, Maki H, Maki K, Maki A, Yamamoto T, Kouchi M, Morioka T
 2013年2月に岐阜県がん・生殖医療ネットワーク設立



兵庫県地図



● ART登録施設: 31施設

がん診療連携拠点病院

- 国指定: 14病院
 - 県指定: 10病院
 - 準拠点病院: 21病院 計45病院
- (平成25年7月時点)



「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」 生殖医療側受け入れ施設一覧

不妊治療施設 (所在地)	受精卵凍結	卵子凍結	卵巣凍結
英ウイメンズC (神戸市)	○	○	△*
徐レディースC (西宮市)	○	○	X
兵庫医科大学 (西宮市)	○	○	○**

【がん生殖外来：兵庫医科大学のみ実施】

	月	火	水	木	金	土
11:00～	○	○	○	○	○	×

2016年3月1日～
・地域連携開始

兵庫県がん・生殖医療ネットワーク

がん患者さんの妊孕能温存のための流れ

がん患者
がん診療施設

→ すみやかにがん治療を開始

妊孕能温存に関する情報提供の依頼

窓口：当科

→ 妊孕能温存カウンセリング

紹介先：生殖医療施設
(当科含む3施設)

→ 妊孕能温存処置を施行

兵庫県がん・生殖医療ネットワーク運用

①

兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書

平成 年 月 日

兵庫医科大学病院
 地域医療・総合相談センター
 産婦人科医局 宛

医療機関：
 診療科・主治医：
 電話番号：
 FAX番号：
 所在地：

相談希望者について

フリガナ 患者氏名		相談希望日時 第1 月 日 午前・午後 第2 月 日 午前・午後 第3 月 日 午前・午後 ※担当医の指名はできません
生年月日	昭・平 年 月 日 (歳)	
住 所	〒 TEL	

・結婚歴・妊娠出産歴 未婚 既婚 妊娠 () 回・出産 () 回

・現病歴

・今後の治療予定 (手術・化学療法の種類・放射線治療の有無など)
 未定
 予定 ()

・がん治療開始までの時間的余裕 (本申込後、いつまでにかん治療を開始するのが望ましいか)
 約1週間以内 約2週間以内
 約1ヶ月以内 約2ヶ月以内
 その他 ()

※初回相談料金は、1回10,000円(税別)をお支払いいただきます。その他、当日に検査等をする場合は別途加算された金額となります。
 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター
 FAX宛先：0798-45-6002 TEL：0798-45-6001

がん診療施設
 (がん治療主治医)



FAX
 0798-45-6002

兵庫医科大学病院
 地域医療・総合相談センター

【がん生殖外来】

	月	火	水	木	金	土
11:00~	○	○	○	○	○	×

相談申込書・紹介要領・患者向けの案内

①

兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書

平成 年 月 日

兵庫医科大学病院
 地域医療・総合相談センター
 産婦人科医局
 病棟 号
 FAX番号:
 所在地:

医療機関:
 診療科・主治医:
 電話番号:
 FAX番号:
 所在地:

相談希望者について

フリガナ 患者氏名	相談希望日時
生年月日 姓・名 年 月 日 (歳)	第 1 月 日 午前・午後
姓 名	第 2 月 日 午前・午後
	第 3 月 日 午前・午後
TEL	※担当医の都合はできません

・結構年、妊娠出産歴 未産 既産 妊娠 () 回、出産 () 回

・既産歴 ()

・今後の治療予定(手術・化学療法の種類・放射線治療の有無など)

再発 ()

子宮 ()

・がん治療開始までの時間的余裕(本申込後、いつまでにがん治療を開始するの希望)

約 1 週間以内 約 2 週間以内

約 1 ヶ月以内 約 2 ヶ月以内

その他 ()

※別添相談料金表、1回 10,000 円 (税別) をお支払いいただきます。その他、当日に検査等をする場合は別途追加された金額となります。

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター
 FAX宛先: 0798-45-6002 TEL: 0798-45-6001

②

兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談室への紹介要領

【はじめに】
 手術・化学療法・放射線治療等の進歩により、若年がん女性の社会復帰の可能性は高まりましたが、副作用により妊孕性を喪失することがあります。近年、生殖医療の進歩に伴い、卵巣・胚・卵巣凍結と凍結保存することで、このように女性の妊孕性を温存することが可能となりました。一方で妊孕性温存のためにがん治療が遅れ、手術の悪化が懸念されることも事実です。そこで生殖医療と各科のがん治療が緊密に連携できるよう、2016年1月に「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」を設立いたしました。このネットワークへのご紹介の際には、別添「兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書」をご利用ください。

【対象患者】
 1. 若年のがん女性に該当する対象となります。悪性疾患でも化学療法を必要とする患者さんおよび免疫抑制薬を併用している患者さん等も対象。
 2. 手術、化学療法、放射線療法、ホルモン療法など閉経後性や卵巣機能抑制作用のある治療を予定している患者。
 3. 患者および後見人(未成年者の場合)に温存希望、妊孕性の温存の希望があり、兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を希望していること。
 4. 妊孕性温存の女性(配偶者)および妊孕性温存の同意書(法的な同意)が得られていること。
 5. 妊孕性温存装置と医療費の自己負担の許可(学費・奨学金等)が得られていること。
 ※ご紹介を頂いた患者様につきましては、妊孕性温存の適応がある方と対応させていただきます。

【妊孕性温存装置の特徴】
 妊孕性温存装置の方法を表1に示す。
 ・凍結広く行われている技術としては受精凍結や卵子凍結です。これらの方法は約1ヶ月〜約2ヶ月の排卵誘発が必要で、月経のない小児がん患者は対象外です。
 ・卵巣凍結は凍結後約1ヶ月経たない小児がん患者にも適応があります。排卵誘発が不要で約1週間程度でがん治療開始が可能です。排卵誘発の時間的余裕のない患者の適応として注目されています。
 ・凍結した卵巣に微小凍結が原因で存在することがあります。この場合、卵巣凍結により増殖の危険性が指摘されていますので、より安全に卵巣から凍結卵卵を回収し、体外培養後、体外受精を行う方法があります。

②

	胚 (受精前) 凍結	卵子 (未受精前) 凍結	卵巣凍結
利点	妊娠率が比較的高い	凍結にも適応(精子は不要)	悪性疾患にも適応 ・排卵誘発が不要 →早期にがん治療可能
欠点	排卵誘発が必要(がん治療の遅延) ・精子が必要	排卵誘発が必要(がん治療の遅延)	・手術(基本:腹腔鏡)が必要 ・移植の際に腫瘍細胞が流入するリスクがある

【紹介の手順】
 1. 「妊孕性温存」相談の実施にあたり、兵庫医科大学病院のがん臨床支援センターに相談をいたしますので、相談には必ず予約をお願いします。
 2. 【兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書」を当該の地域医療・総合相談センターにファクス (FAX: 0798-45-6002) にてお送り下さい。
 3. 当日中に実施日時のお知らせ(予約受付票)をFAXにて返信いたします。
 4. 申し込み後FAX受付時間は月～金 8:30～16:30です。受付時間外にご返信いただいた場合はご予約日等の延期は、温存装置の受付時間内になりますのでご了承ください。予約日の午前中は月～金の11:00～12:00、午後中は月・火・水・金の14:00～15:00になります。
 5. 患者さんの状況が施設へ送付内容がファクスでの返信に過ぎないような場合は、あらかじめ下記担当医へ直接お電話でご確認ください。
 6. 患者さんにお願いいただくもの
 ・兵庫医科大学病院からの「予約受付票」(実施日時を記載したのもの)
 ・紹介状(保険で使用されているもの)
 ・別添【兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内】
 【妊孕性温存」相談費】
 1. 妊孕性温存装置の希望があれば兵庫医科大学病院に導入のうえ妊孕性温存装置を行います。
 ・「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」参加施設での妊孕性温存装置を希望される場合は紹介状を作成します。
 2. 妊孕性温存装置凍結後、原疾患の治療を開始します。
 3. 原疾患の治療を開始しながら妊孕性温存装置を施行する場合もあります。
 4. 原疾患の治療が終了し、患者からの要請と原疾患の主治医から妊娠の許可が得られた場合には、妊孕性温存装置を施行した施設で凍結した受精前・卵子・卵巣凍結を凍結した施設に送り移植の準備を行います。
 【紹介に関わるお問い合わせ先】
 〒663-8501 兵庫県西宮市成瀬川町1番1号
 兵庫医科大学病院 産婦人科医局 (担当: 長原浩恵、船本裕)
 電話番号: 0798-45-6481 FAX 番号: 0798-46-4163

③

兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内

～「妊孕性温存」相談室の受診にあたって～

【はじめに】
 手術・化学療法・放射線治療等の進歩により、若年がん女性の社会復帰の可能性は高まりましたが、副作用により妊孕性を喪失することがあります。近年、生殖医療の進歩に伴い、卵巣・胚・卵巣凍結と凍結保存することで、このように女性の妊孕性を温存することが可能となりました。一方で妊孕性温存のためにがん治療が遅れ、手術の悪化が懸念されることも事実です。そこで生殖医療と各科のがん治療が緊密に連携できるよう、2016年1月に「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」を設立いたしました。
 このネットワークを通じて兵庫医科大学病院がんセンター内のがん臨床支援センターで、医師らによる妊孕性温存センターを予約制で実施しています。月～金 11:00～11:30、月・火・水・金の14:00～14:30です。このネットワークを相談するには、かかりつけの先生に「兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書」に必要事項を記入のうえ、地域医療・総合相談センターにファクス (FAX: 0798-45-6002) していただく。
 ※相談料金は自己診療費で10,000円(税別)をお支払いいただきます。その他、当日に検査等をする場合は別途追加された金額(自費)になります。

【待たいただくもの】
 「妊孕性温存」相談にお越しの際は、以下のものを必ずお持ちください。
 ①かかりつけ医からの「紹介状」
 ②兵庫医科大学病院の「予約受付票」
 ③健康保険証 (ただし自費診療でするので、健康保険の適応ではありません。)
 ④当日の診察費 (お持ちの方のみ)
 ※受診当日は予約時間の15～20分前までに1号館1階総合案内にお越し下さい。
 ※当日遅刻しそうな場合は下記に地域の地域医療・総合相談センターまでお電話ください。
 ・診療開始が予約時間から多少遅れることもありまますのでご了承ください。

【紹介に関わるお問い合わせ先】
 〒663-8501 兵庫県西宮市成瀬川町1番1号
 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター
 電話番号: 0798-45-6035 FAX 番号: 0798-45-6002

- ① 『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』
 - ② 『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談室への紹介要領』
 - ③ 『兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内』
- ①～③を兵庫県内にある**45施設**がん診療施設に送付し運用を開始した。

相談申込書・紹介要領・患者向けの案内の改訂

①

兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書

平成 年 月 日

兵庫医科大学 医師種別： 胎産科、主治医：
 地域医療・総合相談センター 電話番号：
 産婦人科医科 病 種 下入込番号：
 所在地：

相談希望者について

フリガナ 委員氏名	相談希望日時 第 1 月 日 午前・午後 第 2 月 日 午前・午後 第 3 月 日 午前・午後 ※担当医の指名はできません
生年月日 昭・平 年 月 日 (歳)	
住所	TEL

・婚姻歴、妊娠出産歴 未詳 既婚 () 回、出産 () 回

・疾病歴

・今後の治療予定 (手術・化学療法の種類・放射線治療の有無など)

未定 予定 ()

・がん治療開始までの時間的余裕 (本申請後、いつまでがん治療を開始するのが望ましいか)

約1ヶ月以内 約2ヶ月以内

その他 ()

※初期相談料金は、1回 10,000 円 (税別) をお支払いいただきます。その他、当日に検査等をする場合は別途加算された金額となります。

兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター
 FAX宛先：0798-45-6002 TEL：0798-45-6001

②

兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談室への紹介要領

【はじめに】
 手術・化学療法・放射線治療等の進歩により、若年がん女性の社会復帰の可能性は高まりましたが、副作用により妊孕性を喪失することがあります。近年、生体医家の進歩に伴い卵子・胚・卵巣組織を凍結保存することで、このような女性の妊孕性を温存することが可能となりました。一方で妊孕性温存のためにがん治療が遅れ、予後の悪化が懸念されることも事実です。そこで生体医家と各病のがん治療医が緊密に連携できるよう、2019年1月に「兵庫県がん・生体医家ネットワーク」を設立いたしました。このネットワークのご紹介の際には、別添「兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書」を御利用ください。

【対象患者】
 1. 若年のがん女性に主たる対象となります。女性疾患でも化学療法を必要とする患者さんおよび免疫疾患患者や付属臓器・付属臓器の患者等も対象。
 2. 手術、化学療法、放射線療法、ホルモン療法など卵巣毒性や卵巣機能抑制作用のある治療を予定している患者。
 3. 患者および保見人（未成年者の場合）に遺伝希望、妊孕性の温存の希望があり、兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を希望していること。
 4. 妊孕可能年齢の女性（原疾患の主治医の許可（予後が時間的））が得られていること。
 ※ご相談を頂いた患者様につきましては、妊孕性温存の適応がある方と考慮して対応させていただきます。

【妊孕性温存処置の特長】
 妊孕性温存処置の方法を表1に示す。

- ・現在広く行われている技術としては受精前凍結や卵子凍結です。これらの方法は約1ヶ月～約2ヶ月の卵巣機能が必要ですが、月経のない小児がん患者は対象外です。
- ・卵巣凍結は月経のない小児がん患者にも適応があります。卵巣機能が完全に喪失する危険性でがん治療開始が望めます。卵巣機能が時間的余裕のない患者の適応として注目されています。
- ・凍結した卵巣に微小凍存がん病変が存在することがあります。この場合、卵巣凍結により再発の危険性が指摘されていますので、より安全に卵巣から未成熟卵子を回収し、体外受精、体外受精を行う方法があります。

②

【表1】

	胚 (受精前) 凍結	卵子 (未受精前) 凍結	卵巣凍結
利点	妊娠率が比較的高い	凍結にも適応 (種子は不要)	・思春期以前にも適応 ・凍卵時差が不要 →長期にがん治療可能
欠点	・卵巣機能が必要 (がん治療の遅延) ・種子が必要	・卵巣機能が必要 (がん治療の遅延)	・手術 (基本・無散開) が必要 ・腫瘍の再・増悪の懸念が強い ・するリスクがある

【紹介の要領】
 1. 「妊孕性温存」相談の実施にあたり、兵庫医科大学病院のがん影響支援室でカウンセリングを行いますので、受診には必ず予約をお願いします。
 2. 『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』を当該の地域医療・総合相談センター宛にアクセス FAX：0798-45-6002 にてお送りください。
 3. 当日中に実施日時のお知らせ (予約受付票) を FAX にて返信いたします。
 4. 但し、紹介 FAX 受付期間は月～金の 8:30～16:30 です。受付時間外にご送付いただいた場合はご予約日のお返事は、翌診療日の受付時間内になりますのでご了承ください。
 5. 予約日は午前検診は月～金の 11:00～の 1 検、午後検診は月・火・木・金の 14:00～の 1 検となります。申込書に医師希望日時を記載して下さい。
 6. 患者さんの状況が複雑な場合や記入内容がアクセスでの返信に達しないような場合は、あらかじめ下記担当医へ電話でご相談ください。
 7. 患者さんにお渡しいただくもの
 ・兵庫医科大学病院からの「予約受付票」(実施日時を記載したもの)
 ・紹介状 (腫瘍で使用されているもの)
 ・別添「兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内」
 【妊孕性温存の相談費】
 1. 妊孕性温存処置の希望があれば兵庫医科大学病院に相談のうえ妊孕性温存処置を行います。尚、「兵庫県がん・生体医家ネットワーク」参加施設での妊孕性温存処置を希望される場合は紹介状を作成します。
 2. 妊孕性温存処置施行後、原疾患の治療を開始します。
 3. 原疾患の治療が終了し、患者さんからの再発と原疾患の主治医から妊娠の許可が得られた場合には、妊孕性温存処置を行った施設で凍結した受精前・卵子・卵巣組織を融解し妊娠に向け移植の準備を行います。
 【紹介に際するお問い合わせ先】
 〒653-8501 兵庫県芦屋市成木町1番1号
 兵庫医科大学病院 産婦人科医科 (所在地) 胎産治療 総合病室
 電話番号：0798-45-6481 FAX番号：0798-46-4163

③

兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内

～「妊孕性温存」相談室の受付にあたって～

【はじめに】
 手術・化学療法・放射線治療等の進歩により、若年がん女性の社会復帰の可能性は高まりましたが、副作用により妊孕性を喪失することがあります。近年、生体医家の進歩に伴い卵子・胚・卵巣組織を凍結保存することで、このような女性の妊孕性を温存することが可能となりました。一方で妊孕性温存のためにがん治療が遅れ、予後の悪化が懸念されることも事実です。そこで生体医家と各病のがん治療医が緊密に連携できるよう、2019年1月に「兵庫県がん・生体医家ネットワーク」を設立いたしました。
 このネットワークを通じて兵庫医科大学病院がんセンター内のがん影響支援室で、医師による妊孕性温存カウンセリングを予約制で実施しています。月～金の 11:00～11:30 と、月・火・木・金の 14:00～14:30 です。このネットワークを利用するにあたり、かかりつけの先生に『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』に必要事項を記入のうえ、地域医療・総合相談センター宛にアクセス (住所：0798-45-6002) していただくください。
 ※相談料金は各診療費で 10,000 円 (税別) をお支払いいただきます。その他、当日に検査等をする場合は別途加算された金額 (自費) となります。

【持参いただくもの】
 「妊孕性温存」相談にお越しの際は、以下のものをご持参ください。
 ①かかりつけからの「紹介状」
 ②兵庫医科大学病院の「予約受付票」
 ③健康保険証 (ただし自費診療ですので、健康保険の適用ではありません。)
 ④当該の診療費 (お持ちの方のみ)

※受診当日は予約時間の 15～20 分前までに1号館1階総合案内にお越し下さい。
 ※当日遅しなうた場合は下記の地域医療・総合相談センターまでお電話ください。
 ・影響開始が予約時間から多少遅れることもありまますのでご了承ください。

【紹介に際するお問い合わせ先】
 〒653-8501 兵庫県芦屋市成木町1番1号
 兵庫医科大学病院 産婦人科医科 (所在地) 胎産治療 総合病室
 電話番号：0798-45-6035 FAX番号：0798-45-6002

- ① 『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』
- ② 『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談室への紹介要領』
- ③ 『兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内』

⇒2020年10月：
 男性がん患者に対する妊孕性温存を本ネットワークの対象患者に含めるため改訂した。

男性がん患者に対する妊孕性温存

兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内
～「妊孕性温存」相談室の受診にあたって～

【はじめに】

手術・化学療法・放射線治療等の進歩により、若年がん患者の社会復帰の可能性は高まりましたが、副作用により妊孕性（妊娠のしやすさ）を喪失することがあります。近年、生殖医療の進歩に伴い、**男性では精子、女性では卵子・胚・卵巣組織を凍結保存**することで、妊孕性を温存することが可能となりました。一方で妊孕性温存のためにがん治療が遅れ、予後の悪化が懸念されることも事実です。そこで生殖医療医と各科のがん治療医が緊密に連携できるよう、2016年1月に「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」を設立いたしました。

このネットワークを通じて兵庫医科大学病院生殖医療センターで、医師による妊孕性温存カウンセリングを月～金の11:00～11:30に予約制で実施しています。このネットワークを利用するにあたり、かかりつけの先生に『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』に必要事項を記入のうえ、医療支援センター宛にファクス（FAX：0798-45-6002）してもらってください。

※相談料金は自費診療で10,000円（税別）をお支払いいただけます。その他、当日に検査等をする場合は別途加算された金額（自費）になります。

【持参いただくもの】

「妊孕性温存」相談にお越しの際は、以下のものをご持参ください。

- ①かかりつけ医からの「紹介状」
- ②兵庫医科大学病院の「予約受付票」
- ③健康保険証（ただし自費診療ですので、健康保険の適用ではありません。）
- ④当院の診察券（お持ちの方のみ）

※受診当日は予約時間の30分前に1号館1階 初診受付にお越し下さい。

※当日遅刻しそうな場合は下記の医療支援センターまでお電話ください。

・診療開始が予約時間から多少遅れることもありますのでご了承ください。

【紹介に関わるお問い合わせ先】

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

兵庫医科大学病院 医療支援センター

電話番号：0798-45-6001 FAX 番号：0798-45-6002

兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談室への紹介要領

【はじめに】

手術・化学療法・放射線治療等の進歩により、若年がん患者の社会復帰の可能性は高まりましたが、副作用により妊孕性を喪失することがあります。近年、生殖医療の進歩に伴い、**男性**では精子、女性では卵子・胚・卵巣組織を凍結保存することで、妊孕性を温存することが可能となりました。一方で妊孕性温存のためにがん治療が遅れ、予後の悪化が懸念されることも事実です。そこで生殖医療医と各科のがん治療医が緊密に連携できるよう、2016年1月に「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」を設立いたしました。このネットワークへのご紹介の際には、別紙『兵庫医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』を御利用ください。

【対象患者】

1. 若年のがん患者さんが主たる対象。良性疾患でも化学療法を必要とする患者さんおよび免疫疾患や卵巣・精巣腫瘍の患者等も対象。
2. 手術、化学療法、放射線療法、ホルモン療法など卵巣・精巣毒性や卵巣・精巣機能抑制作用のある治療を予定している患者。
3. 患者および後見人（未成年者の場合）に育児希望、妊孕性温存の希望があり、兵庫医科大学病院で「妊孕性温存」相談を希望していること。
4. 妊娠可能年齢の女性（閉経前）、性成熟前の女兒、および性成熟後の男性。
5. 妊孕性温存処置に原疾患の主治医の許可（予後や時間的に）が得られていること。
※ご紹介を頂いた患者様につきましては、妊孕性温存の適応がある方と考えて対応させていただきます。

【妊孕性温存処置の特徴】

妊孕性温存処置の方法を表1に示す。

- ・**男性では、**採取した精液中の精子や精巣内精子を培養液とともに凍結保存します。
- ・女性では、受精卵・卵子・卵巣を凍結保存します。受精卵・卵子凍結は排卵誘発が必要で約1ヶ月を要します。月経のない小児がん患者は対象外です。
- ・卵巣凍結保存は月経のない小児がん患者にも適応があります。排卵誘発が不要で1週間以内でがん治療開始が望めます。排卵誘発の時間的余裕のない患者に適応されます。
- ・凍結した卵巣に微小残存がん病変が存在することがあります。この場合、卵巣移植により再発の危険性が指摘されていますので、より安全に卵巣から未成熟卵子を回収し、体外培養後、体外受精を行う方法があります。

「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」の利用方法

兵庫医科大学 産科婦人科
HYOGO COLLEGE OF MEDICINE
DEPARTMENT OF OBSTETRICS AND GYNCOLOGY

トップページ | サイトマップ | 関連病院

外来案内
Outpatient

教授挨拶 | 教室の紹介 | 総合周産期母子センター | **外来案内** | スタッフ紹介 | 診療実績 | 研究業績 | 入局案内 | アクセス

「兵庫県がん・生殖医療ネットワーク」の利用方法

兵庫県がん・生殖医療ネットワークでは、実際の運用を平成28年3月1日より行っています。

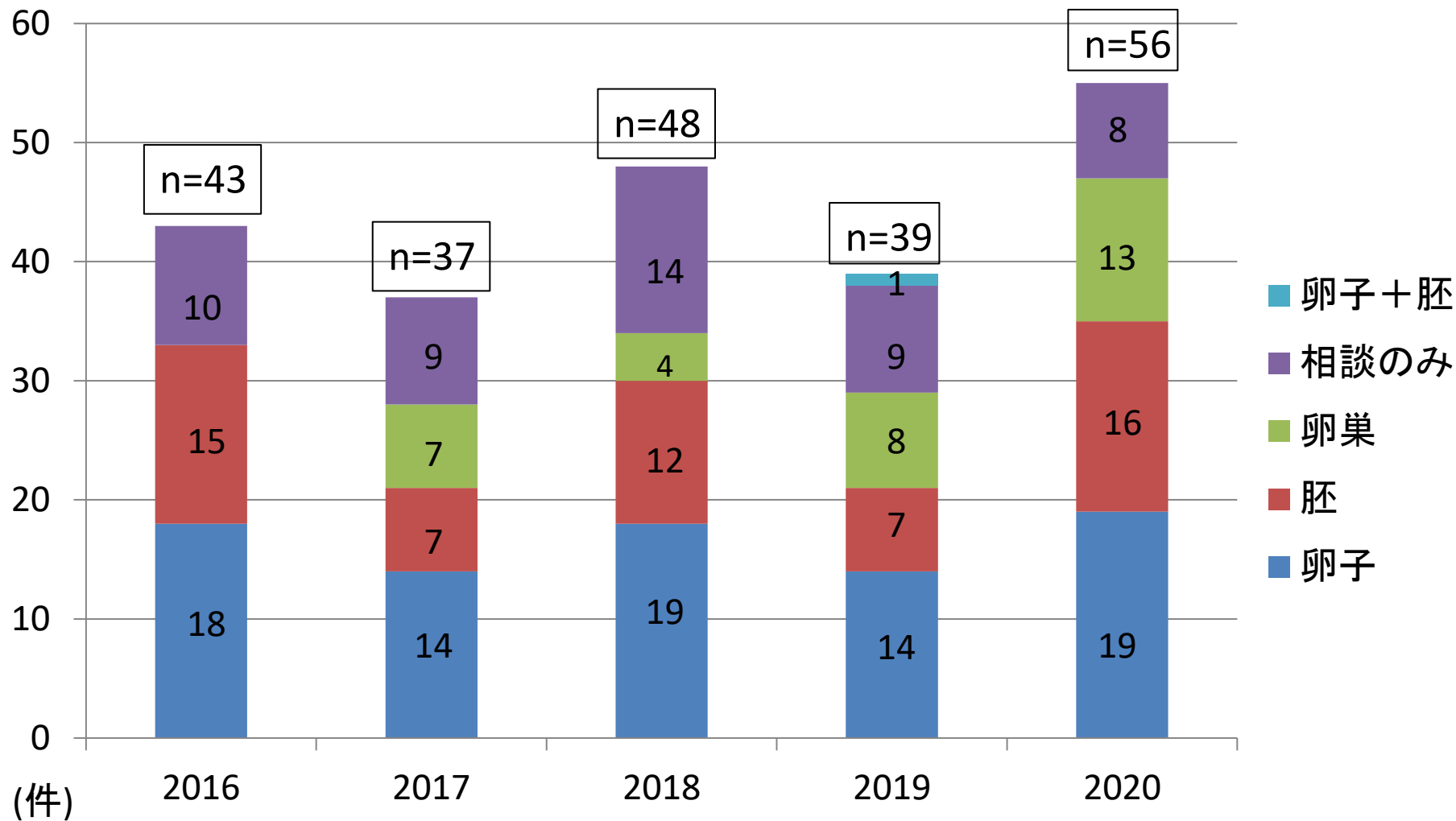
- 『兵庫県医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』
- 『兵庫県医科大学病院「妊孕性温存」相談室への紹介要領』
- 『兵庫県医科大学病院で「妊孕性温存」相談を御希望の患者さんへのご案内』

御利用の際は上記のファイルをダウンロードして印刷し、原疾患の主治医の先生に『兵庫県医科大学病院「妊孕性温存」相談申込書』に必要事項を記入のうえ、地域医療・総合相談センター宛にファクス(FAX : 0798-45-6002)してもらってください。
患者さま本人から予約はできません。

▲ ページの先頭に戻る

<http://www.hyo-med.ac.jp/department/obgy/outpatient/index6.html>

兵庫県におけるネットワーク設立後の 妊孕性温存実施周期数の推移



兵庫県におけるネットワーク設立後の 妊孕性温存症例のアウトカム

	胚	卵子	卵巣
凍結患者数	43	34	28
移植患者数	16	0	0
妊娠成立数	12	0	0

卵子と胚、あるいは卵子+卵巣を凍結した患者さん(2名)の移植も未。

2016年1月～2020年12月(5年間)